

地区名 由利本荘市・にかほ市

所在地 由利本荘市上野

バス駐車 × 大地のつくり

トイレ × **水のはたらき**

露頭までの道のり

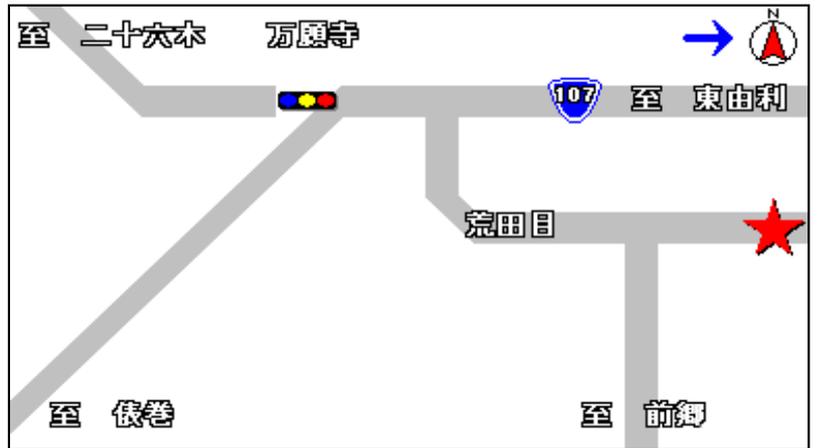
由利本荘市から横手方面に向かう国道107号線を進み、万願寺交差点を過ぎたところで右の細い道に進む。そのまま、万願寺地区内を進むと左側に見えてくる。

安全上の留意点

露頭に向かう道が狭く、田んぼの用水路もあるため児童の動きから目を離さないこと。バスで向かう場合は、近くで降ろしてもらい、観察終了後迎えに来ていただくのがよいと思われる。畑や民家が近くにあるので、礼儀・作法に気をつけさせたい。

観察のポイント

- ① ほぼ砂や泥だけが堆積していること。
- ② 地層の上部に、角の取れた丸い礫が入っていること。
- ③ 地層が奥まで続いていること。



地質年代

新第三紀鮮新世後期(約200万年前頃)

露頭概観

指導形式

A,B,C

解説

笹岡層と見られ、砂岩やシルト岩の層が広がっている。上部に、円礫を含む層が不整合にのっているが、これは笹岡層よりも年代の新しい河床堆積物ではないかと思われる。児童には、海の深いところで堆積した笹岡層から大地が陸化していった過程を考えさせることができるよい露頭である。この近くに大桑-万願寺動物群の模式地となっている露頭が万願寺地域があるが、柵に囲まれ民家の裏手になっているため、多数の児童を連れての観察には適さない。

(筆者独自調査)



白く見える砂岩の層は、手や移植ベラで容易に掘ることができる。地層が奥まで続いていることを確かめさせることができる。ただし掘りすぎはだめ。



足下に落ちている砂岩を手にとるとその柔らかさが分かる。手触りを確かめてもいいだろう。



露頭の上部に丸い礫が多数入っている。堆積した場所が層の境目から変化したことを考えさせられる。